

新潟中越沖地震対策ニュース

No.4

新潟県商工団体連合会 025-274-9661

2007年8月7日

商店街が復興できる中小業者の支援策を

「震災に負けないで商売再建を」「かけがえのないあなたの商売を再建することが地域の再建に繋がる」

柏崎・中心商店街の商店100軒を激励訪問し、「実態・要求・聞き取り」調査を行う

8月4、5日、全県の役員・事務局員の応援隊と地元の役員・事務局を含め30名が参加し、中心商店街を訪問しね聞き取り調査を行いました。地震で大きな被害を受けた商店を一軒一軒訪問し、公的支援制度や中小業者支援策を紹介した民商の「商売再建パンフ」を届け対話し、被災の状況や商売再建していく上の悩みなど聞きながら、「あなたの商売を再建することが地域の再建に繋がる、がんばって商売を続けよう」と励ましながら対話をしました。ほとんどの商店が好意的に迎え、被災時の状況や震災後の状況など、堰を切ったように話し、「建物はしっかりしているように見えるが、地盤がやられている。是非見てほしい」と大きな被害が出ている場所まで案内し、「建物だけであれば何とかなるかもしれないが、この地盤を直すのにどれだけかかるか検討もつかない」と商売再建に対する強い思いと計り知れない悩みなどが多く語られています。「創業から130年、商売を続けてきた。8月3日から商売を再開したが、工場が全壊していて生産は通常の5分の1しか出来ない。従業員も被災し、今後、お客様が戻ってくるか心配だ」(和菓子製造・販売店)、土蔵が全壊した商店では「商売が続けられるか判断がつかない」「例年、海水浴シーズンの夏場が稼ぎ時なのに、今年はこの地震でまったくダメ。これからどうなるのか」「ガスがまだ復旧していないため商売が再開できない」(ホルモン店)、「店を再開したが、お客様も戻っていないために商売にならない」など中小業者の切実な声が寄せられました。



「手厚い支援がなければ商売再建は困難」

柏崎市の中心市街地にある九つの商店街組合で震災前に営業していたのは254店舗。新潟県の調査によると「再開状況」は72%となっています。

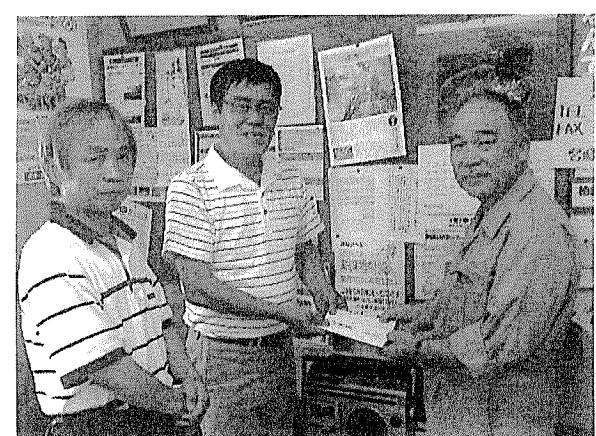


しかし、被害の大きかった東本町二丁目、「えんま通り商店街」の再開は30%と深刻です。民商の2日間の調査でも、「まだ店をやる気にはとてもなれない」「店は開いたが、近所の人達も戻っていないので、お客様も少なく、今後、どうなるか不安だ」など「営業を再開」したことになってはいても見通しが持てないでいる中小業者の実態が明らかになっています。中越大震災の時も被害を受け、借り入れして店舗の改修した商店も多く、「これ以上借りて、やっていける目途が持てない」と率直に語る業者も。かつては300店以上が軒を並べていた商店街が郊外型の大型店の進出などで、六年間に30店舗近くが閉店に追い込まれています。「シャッターを下ろした店のほとんどがやられた」「経営がきびしい店ほど被害が大きい。このままではどのぐらい閉店に追い込まれるのか」など深刻な不安が語られています。手厚い公的な支援がなければ多くの中小業者の商売再建は困難です。民商の役割の発揮が求められています。

兵庫県連・磯谷吉夫会長と土谷洋男全商連常任理事

兵商連・兵商連共済会の救援金を持って柏崎民商を激励・訪問

8月6日、兵商連・磯谷吉夫会長と土谷洋男全商連常任理事は電車、レンタカーを乗り継いで兵庫からかけつけ、被災地の柏崎民商を訪問、救援募金を能登新商連会長に手渡し、地震発生から不眠不休の奮闘で被災者救援活動に奮闘している事務局や役員を激励し、自らの震災体験も語りながら懇談しました。植木柏崎民商事務局長から「今回の震災は、中心市街地の商店街が壊滅的な被害を受けていること、交通が一部を除いて寸断されることはなかったが電気・ガス・水道などライフラインがストップしていて、水があっても風呂が使用できない、食事を作ることが出来ない。ガスが回復していないために飲食店などが営業が再開できない」となどの状況を説明。磯谷会長は、阪神大震災の時は電車や道路など交通がほとんど寸断された中での救援活動であったこと。近所の知り合いのところに地下水道があったので、水を分けてもらい、ガス会社に都市ガスのコンロに器具を取り付けてプロパン対応変えもらって、震災から何日も経たない中で商売を再開し、被災者に格安であったかい定食を提供し、被災者を励ましてきた体験などが語されました。磯谷会長の話は、民商精神を發揮し、中小業者のたくましさ、根性で被災者を励まし、商売を再建し、震災を乗り越えて民商も大きくしてきた底力を感じさせるものでした。新商連の能登会長、牧口前柏崎民商会長も同席しました。



新商連三役会 お盆前に被災されたすべての会員に全国・全県の仲間から寄せられた救援募金を、一日も早い、商売と暮らしの再建を願う仲間の心として届けることを確認し、8月7日に柏崎民商、長岡民商、見附商に見舞金を送りました。救援募金の取組みは、参議院選挙もありこれからのことのがほとんどかと思います。被災された会員が複数の民商にわたりており、寄せられた募金を相応しく被災者にも届けられるように、今後の募金は県連に集中していただくようお願いします。

全国の仲間
の見舞金を
被災者に